

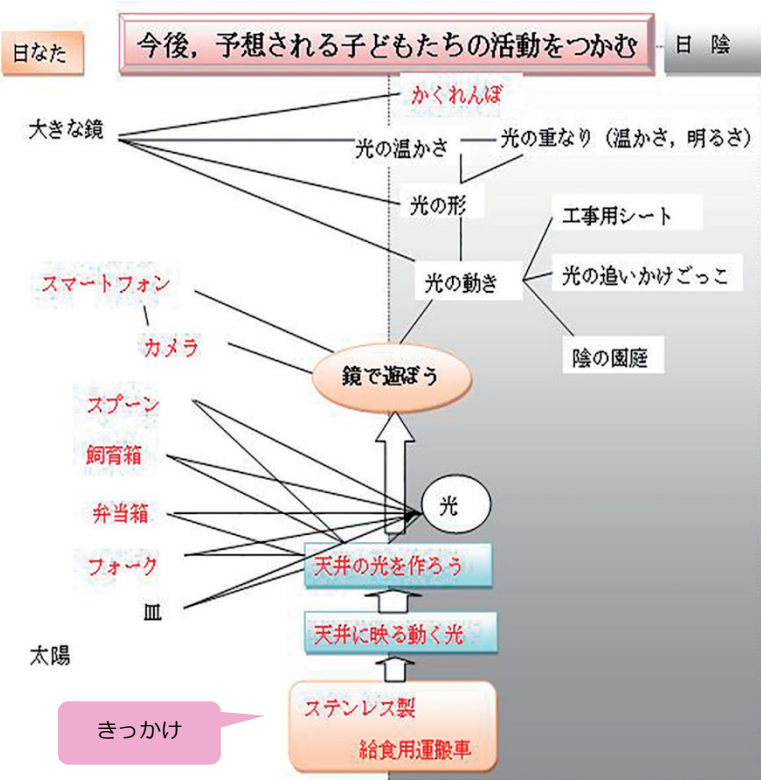
1 記録をとる

ウェブ図式を使って保育の手掛かりに～光を楽しむ～ 4歳児 学校法人鹿児島竜谷学園 和光幼稚園

下図は、4ページの事例「キラキラチョウチョだ！」に関する記録を、「ウェブ」という形に図式化したもの。子どもの豊かな発想をより確かなものとして生かし、遊びへの広がりや深まりに対応し、保育者の援助の在り方を導き出すために、その日の子どもの姿を「ウェブ」に書き表し、一人ひとりに応じた支援、自由な発想（ひらめき）が生かされるように活動の展開を予想する。

保育室の不思議な光の面白さを見つけた子どもたちの姿から、興味・関心を捉え、日なた・日陰でどのような遊びが展開されたか？そしてどのように展開していくのか？予想し記録する。その後の展開を朱書きで加筆していく。このような、身近な現象等をきっかけとした遊びで見られる子どもの興味・関心の方向性を探り、活動をさらに広げたり、深めたりするために取り組んできた「ウェブ」である。

子どもたちの活動（体験）をウェブで表す



ウェブ作成と保育に活かす流れ

- 子どもの遊びの姿を記録し、ウェブ状に表す。遊びの中から、子どもたちの豊かな発想を捉える。
- 一人一人に応じた支援、自由な発想（ひらめき）が生かされるように、活動の展開を様々に予想する。予想から、環境の準備をする。
- 新たに子どもが生み出した遊びの姿を、朱書きで記録し、加筆していく。
- 活動の展開から、子どもの思いや体験をつかむ。新たな援助や環境作りを考える。



<考察>

- ウェブにより、子どもたちの発想、行動に思いを巡らし、行動を予測することができるようになってきた。
- 多岐に亘って予測したことにより、子どもたちの行動に、柔軟に対応することができた。
- 予測以外の子どもたちの発想、行動を明確に掴むことができ、子どもから学ぶことが増えてきた。
- 発達に合わせ、遊びの広がりや停滞を見逃すことなく、「科学する心」を育むための保育者の願いや期待を子どもに即して生み出し、その願いを環境に込めることができた。
- 子どもたちの多様な遊びの中で見られる経験や育ちを他の保育活動で生かすことができた。

子どもの姿をウェブ状に書き表すことは、「子どもたちの興味・関心がどこにあるのか？」その広がりや深まりを捉える手掛かりになっています。予想と実際の姿とを見直し、記録を加筆修正していくことで、「科学する心」を育むためには、どのような環境作りや援助が大切かを明らかにすることが期待できます。